

木づかい運動をはじめよう

これって国産材の割り箸なのかな？

普段何気なく使っている割り箸ですが、その割り箸が、どこの国の木を使って作られているのか考えたことはありますか？

今まで、割り箸は「使い捨て」というイメージで、使用しないことがエコだと思いがちでした。現在、日本で使われている割り箸の9割以上は、価格の安い外国産材です。この割り箸を外国産材から国産材のものに替えていくことで、日本の木を使う機会が増え、森は元気を取り戻すことができるようになります。マイ箸はもちろん、割り箸を使う時にも国産材のものを選んで使うようにしたいものです。

木づかい運動をはじめよう

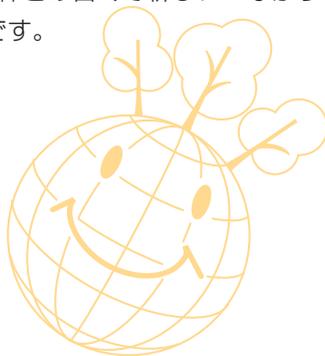
国産材を使った製品に付けられている「サンキューグリーンスタイルマーク」。これは日本の森林への感謝（サンキュー）が込められている、「木づかい運動」のシンボルマークです。

木製品といっても、まな板や箸、お椀などの台所用品から、おもちゃや健康用品、間伐材を使用した靴の消臭剤など幅広くあります。最近はおフィスでも積極的に木製品を取り入れ、間伐材が入ったコピー用紙や名刺を利用する会社が増えてきました。

都心に住んでいると、アスファルトやコンクリートのビルばかりで、木の温もりを感じる場面は少ないかもしれませんが、森を守るためにできることはたくさんあります。森林とふれあう機会を増やす、国産材の製品を購入する、下草刈りなどのエコツアーに参加するなど、積極的に行動することです。

「使うことがエコになる」——人と森林との古くて新しいつながりを、改めてみなさんに知っていただきたいのです。

木づかいのことを知りたい方は
木づかい.com へ！
<http://www.kidukai.com/>



木づかい運動を広めるために作られたサンキューグリーンスタイルマーク。このマークが付いたものは国産材を使っていることを表しています。



今年度の木づかい運動のポスター



5円の木づかい箸

ミニストップでは、お客様と一緒に取り組む環境活動として、奈良県産のヒノキの間伐材を使用した割り箸を5円で販売しています。(写真提供:ミニストップ株式会社)

TOPICS

「エコ窓」と「緑」でエコな暮らし



豊島区では、二重サッシや樹脂製内窓などの窓を含む断熱リフォームなどの省エネ改修をする方を対象に、費用の一部を助成しています。

【問い合わせ先】エコ得情報カウンター 03-3981-1592 (直通)

窓の断熱性能を高めることで、夏場は暑さから家を守り、冬場は室内の暖かさを外に逃がしにくくします。エアコン等の省エネ家電をさらに効率的に使うためにも、「エコ窓」は有効です。日本全国の既存住宅が全て「エコガラス」に交換した場合、年間約1,700万tのCO₂排出量の削減につながると試算されています。*

さらに、夏場は「エコ窓」と「緑」を組み合わせることで、窓の表面温度が下がり、より快適に暮らすことができます。また、エアコンの使用を抑えることにつながり、高い省エネ効果も期待できます。

*CO₂の試算については、板硝子協会発行の「住宅窓の断熱化による省エネルギー効果—Low-E 複層ガラス(エコガラス)によるCO₂排出量削減—(SMASHによるシミュレーション計算結果)平成15年3月」より抜粋